

# 福島第一原子力発電所の状況

平成 23 年 11 月 30 日  
東京電力株式会社

## <タービン建屋地下のたまり水の処理>

高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

### [処理設備]

- ・6/17 20:00 放射性物質除去装置の本格運転を開始。
- ・6/24 12:00 淡水化装置(逆浸透膜型)における処理を開始。
- ・6/27 16:20 循環注水冷却を開始。
- ・8/7 16:11 蒸発濃縮装置の本格運用を開始。
- ・8/19 19:33 第二セシウム吸着装置(B系ライン)を起動し、セシウム吸着装置および除染装置との並列運転によるたまり水の処理を開始。19:41 定常流量に到達。

### [貯蔵設備]

- ・6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付中。

## トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元	移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋 減容処理建屋(高温焼却炉建屋)	集中廃棄物処理施設[雑固体廃棄物]	・11/10 9:10～ 11/30 8:59 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋	集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋]	・11/15 9:25～ 移送実施中
6号機	・6号機タービン建屋	仮設タンク	・11/30 移送予定なし

移送先	移送先の水位状況 (11/30 7:00 時点)
プロセス主建屋	水位: O.P.+ 2,207 mm(水位上昇累計:3,424 mm) 11/29 7:00 から 39 mm 上昇
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)	水位: O.P.+ 2,025 mm(水位上昇累計:2,751 mm) 11/29 7:00 から 101 mm 下降

## トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (11/30 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P. <+ 850 mm (11/29 7:00 と同じ)	O.P.+ 3,352 mm (11/29 7:00 から 31 mm 上昇)	O.P.+ 4,019mm (11/29 7:00 から 25 mm 下降)
2号機	O.P.+ 2,980 mm (11/29 7:00 から 24 mm 下降)	O.P.+ 2,992mm (11/29 7:00 から 23 mm 下降)	O.P.+ 3,110mm (11/29 7:00 から 21 mm 下降)
3号機	O.P.+ 3,223mm (11/29 7:00 から 13 mm 下降)	O.P.+ 2,970mm (11/29 7:00 から 14 mm 下降)	O.P.+ 3,184mm (11/29 7:00 から 13 mm 下降)
4号機	-	O.P.+ 3,000mm (11/29 7:00 から 12 mm 下降)	O.P.+ 3,020mm (11/29 7:00 から 5 mm 上昇)

## <放射性物質のモニタリング>

### 海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約 30m	11/29	8:55	ND	0.06	0.05
福島第一 1～4号機放水口南側約 330m	11/29	8:20	ND	ND	0.02

・その他、福島第一原子力発電所沿岸2地点(11/29 採取分)、沖合 11 地点(11/28 採取分)および 11/28 に無人調査船により採取した沖合5地点における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134、137)については全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (11/30 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中(8/10 11:22～)	17.5
2号機	循環冷却システム	運転中(5/31 17:21～)	23
3号機	循環冷却システム	運転中(6/30 18:33～)	20.5
4号機	循環冷却システム	運転中(7/31 10:08～)	28

[2号機]・11/6～ 使用済燃料プール放射性物質除去装置の運転を開始。

・11/30 13:26～15:04 ヒドラジン注入を実施(約2m<sup>3</sup>)

[4号機]・11/29 10:58 使用済燃料プール水の塩分濃度を低減させるため、新たに設置したイオン交換装置の本格運転を開始。

<原子炉圧力容器への注入・原子炉の状況> (11/30 11:00 時点)

号機	注入状況	給水ノズル温度	原子炉圧力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.3 m <sup>3</sup> /h)	44.3	45.5	116.4 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約3.1 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約4.3 m <sup>3</sup> /h)	71.2	76.7	111 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約2.1 m <sup>3</sup> /h, 炉心スプレイ系:約6.0 m <sup>3</sup> /h)	60.1	68.2	101.5 kPaabs

「プラント関連パラメータ(水位・圧力・温度などのデータ)」のうち、1号機原子炉格納容器圧力(ドライウェル圧力)について、5月11日午後5時から11月29日午前5時まで、誤りがあることが判明。これはD/W圧力の算出にあたり使用していた補正式の誤り(5月11日午後5時～10月28日午前5時のデータ)及び、運転員の被ばく低減を目的にデータ採取計器を本設計器からデジタルレコーダーへ変更した際の補正漏れによる誤り(10月28日午前11時～11月29日午前5時のデータ)であり、11月29日午前11時より正しい補正式にて値を算出。

[1号機]・11/29 9:55 原子炉圧力容器内への窒素封入ライン設置工事に伴い、原子炉格納容器への窒素封入装置を停止。

11:05 工事終了により、窒素封入装置を起動。

11:30 定格流量(28Nm<sup>3</sup>/h)に到達。

・11/30 11:40 原子炉圧力容器内への窒素封入ライン設置工事に伴い、原子炉格納容器への窒素封入装置を停止。

12:20 工事終了により、窒素封入装置を起動。

12:23 定格流量(28 Nm<sup>3</sup>/h)に到達。

16:04 原子炉圧力容器への窒素封入開始。

16:08 窒素封入量5Nm<sup>3</sup>/hに到達。(原子炉格納容器側封入ラインは28Nm<sup>3</sup>/hで変化なし)

[2号機]・11/29 13:47 原子炉圧力容器内への窒素封入ライン設置工事に伴い、原子炉格納容器への窒素封入装置を停止。

14:21 工事終了により、窒素封入装置を起動。

14:37 定格流量(26Nm<sup>3</sup>/h)に到達。

・11/30 13:45 原子炉圧力容器への窒素封入を開始。

14:47 窒素流量が上昇しないことが確認されたため、窒素封入作業を一時中断。現在、原因は調査中。

[3号機]・11/30 11:33 原子炉圧力容器内への窒素封入ライン設置工事に伴い、原子炉格納容器への窒素封入装置を停止。

13:07 工事終了により、窒素封入装置を起動。

13:20 定格流量(28 Nm<sup>3</sup>/h)に到達。

16:26 原子炉圧力容器への窒素封入開始。

16:40 窒素封入量5Nm<sup>3</sup>/hに到達。(原子炉格納容器側封入ラインは28Nm<sup>3</sup>/hで変化なし)

[4号機][5号機][6号機]特に変化なし。

<その他>

・10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止を目的として、5,6号機滞留水浄化の水を利用し、散水を継続実施中。

・11/29 2号機原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリングを実施。分析の結果、原子炉格納容器ガス管理システム入口でXe-135が検出限界値(1.1×10<sup>-1</sup>Bq/cm<sup>3</sup>)未満であり、再臨界判定基準である1Bq/ccを下回っていることから再臨界していないと判断。なお、Xe-135については、これまでにチャコールフィルタにて検出(自発核分裂と判断)されたことから、「福島第一原子力発電所1～4号機に対する「中期的安全確保の考え方」に基づく施設運営計画に

係る報告書(その1)(改訂)(11月9日公表)にて、再臨界判定基準としてガス管理システムの入口におけるガスバイアル瓶によるサンプリング結果を用いて判断することとしております。

検出限界値 チャコールフィルタ: $10^{-6}$ レベル、ガスバイアル瓶: $10^{-1}$ レベル

- ・11/30 9:00～12:30 大型クレーンによる3号機原子炉建屋上部においてダストサンプリング作業を実施。
- ・11/30 10:00～10:30 3号機原子炉建屋1階大物搬入口付近において、ロボットによるダストサンプリング作業を実施。

以上